

失業と貧乏のヤマにするな



發行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話381330 下
編集人兼人

石炭政策に對決して 春闘を闘う

炭労48回臨時大会終る

炭労第四八回臨時大会は去る三月十四日～十六日まで東京に於いて開催され、「春闘総路線」と議題の決定を行ない、今次春闘を本格的に取り組むことになった。

春闘と石炭政策斗争

今年の春闘は、現在問題となつてゐる政府国民党の石炭政策とは切り離せない内容を持っているので、大企業は「石炭政策」に対処する春闘」に論議が集中した。すなわち今次政府の炭鉱合理化計画である石炭政策の中心は①現在の能率を倍にする。②人員を四五〇〇人減らす。③賃金を七%におさえ、四三年以降は五%におさえる。④労資の平和協定を結ぶ。以上の合理化の確約があれば、政府が石炭資本に対する、二〇〇億円の償還をする。といった徹底した合理化がすなわち石炭政策として、独占と政府が一体となって労働者に攻撃をかける内容である。

大幅賃上げ（一万円）を要求する労使効率、政府・石炭資本が一体となって賃金に押さえこむとする石炭政策（合理化計画政府版）の七%とが真正面から衝突し、対決することが論議された。結論として、私たちの賃金要求は、鉄鋼並みという要求であり、当

学問にはたんたんたる大道はない。ただ、じろがない人のみが、かがやかしい頂上に達しようという期待をもっていい。

（「資本論」フランス語版への序）

一をした三指標（保安確保、長時間労働禁止、充員斗争）を更に充実させ、一週一回は職場で一時間休憩を取り話し合ひを行なう、といたことを基本として、組合員の交流、労働活動の強化などを行なながら、労使効率としての「有効適切」な戦術を決定する（具体的には中斗一任）ことになった。

われらの要求かかけて

中央行動へ

前大会以降中斗が金山に入つてオルグした結果の内容として、下部組合員が合理化攻撃に対して相手に不満を持っているが、それがすぐに運動（抵抗）に發展していく実態であり、いわば職場に組合運動不在であると報告された実態である。

せざる第三次合理化計画政府版である石炭政策は、国民の血税を私企業に融資するといふ、地域住民まで犠牲にするものである。そのため三月末に全国の政治局員が地方自治体の決議などを政府に要求して起立上がり、中央に集約して大行動を展開する。

また四月末には中央連絡会を結成し、政府の石炭政策がもたらすことが論議され、前大金会意志統一がなされた。

これが第三次合理化計画政府版で労使効率のみにいきさきしづけられた。三指標を職場抵抗の

主　　共斗で首切りをハネ返せ

体制的な合理化攻撃

この春闘は、政府の無策苦渋な設備投資による機械化。

理由に、國家権力を動員して公

共斗で首切りをハネ返せ

政府が石炭資本に対する、二〇〇億円の償還をする。といった徹底した合理化がすなわち石炭政策として、独占と政府が一体となって労働者に攻撃をかける内容である。

大幅賃上げ（一万円）を要求する労使効率、政府・石炭資本が一体となって賃金に押さえこむとする石炭政策（合理化計画政府版）の七%とが真正面から衝突し、対決することが論議された。結論として、私たちの賃金要求は、鉄鋼並みという要求であり、当

斗う体制を固めて対決 三化で首切り提案

斗う体制を固めて対決

六〇〇名の首切り案

三月十七日、不況を理由に三化三合では六〇〇名の首切り案を提出してきた。

内容は、①高年令者、②有夫の女子、③別に収入源があり、退職しても生活に支障のない者、④健康、その他事情により、現在の置いた指導をしなければならないことが論議され、前大金会意志統一がなされた。

三月二十四日、首切り提案に対し、三化・三合労組は、「このまま放置すれば、〇〇〇名の生活の基盤が

そのまま放置すれば、〇〇〇名の生活の基盤が

<p